

第1回庁舎整備検討委員会の総括について

第1回庁舎整備検討委員会会議録の抜粋

- ◇ いざ災害が発生した場合に備えた抜本的な対策が急務である。
- ◇ 庁舎だけでなく、その他公共施設や市民が使う付帯施設などについて、総合的に検討していく必要がある。
- ◇ 庁舎に限らず、多くの公共施設が建替えの時期に来ている。これらの整備を単独で議論するのではなく、庁舎を核にして総合的に再編再整備していく必要がある。庁舎整備に待ったをかけられてしまうと、市の公共施設全体の再編が進まなくなってしまう。新庁舎の整備は必要不可欠である。
- ◇ 10年、20年、何十年先でも使いうる庁舎にしていかなければならない。
- ◇ 10年後、20年後に本市がどのような都市構造になって、市民がどのような生活をしているのかを想像し、市民の声を聞きながら、将来を見据えた議論を行っていきたい。



- ◇ 「防災」及び「まちづくり」の拠点となる庁舎整備については、その他公共施設との複合化を視野に新築整備することが望ましい。
- ◇ 数十年先の将来を見据えた「新たなまちづくり」と連携した一体的な庁舎整備が重要である。